

清流の国ぎふ森林・環境税活用事業 の進捗状況について

平成24年8月9日

1 森林・環境税の使途について

緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを進めるため、清流の国ぎふ森林・環境税を活用して、(1) 環境保全を目的とした水源林等の整備、(2) 里山林の整備・利用の促進、(3) 生物多様性・水環境の保全、(4) 公共施設等における県産材の利用促進、(5) 地域が主体となった環境保全活動の促進といった5つの施策につらなる21事業を実施。



(単位：億円)

施策	今後5年間に想定される必要額		平成24年度予算額	
	5年間	1年平均	右以外	市町村提案事業
I 豊かな森づくり・清らかな川づくり	55.90	11.18	7.38	1.00
(1) 環境保全を目的とした水源林等の整備	25.75	5.15	3.68	
(2) 里山林の整備・利用の促進	4.50	0.90	0.62	
(3) 生物多様性・水環境の保全	12.00	2.40	1.61	
(4) 公共施設等における県産材の利用促進	13.65	2.73	1.47	
II 人づくり・仕組みづくり	4.10	0.82	0.32	
(5) 地域が主体となった環境保全活動の促進	4.10	0.82	0.32	
合計	60.00	12.00	8.70	

2 主な事業の進捗について

(1) 環境保全を目的とした水源林等の整備

① 環境保全林整備事業

水源林や、水質保全に役立つ溪畔林、奥山林、山地災害防止のために重要な森林において、市町村や森林事業体等が行う森林整備を支援。

○平成24年度事業費：358,000千円 ○平成24年度事業計画：2,200ha

○平成24年度事業の進捗

- ・市町村等から365,645千円の事業要望。(3月末)
- ・市町村等から提出された事業計画により、順次、補助金の交付額を決定。
- ・各市町村等において事業実施中。

② 水源林公有林化支援事業

水源のかん養や生物多様性の保全等の公益的機能が広範囲に及ぶ重要な森林のうち、荒廃した森林又はそのおそれのある森林で、早急に公的な管理を行う必要がある森林について、市町村による公有林化を支援。

○平成24年度事業費：10,000千円 ○平成24年度事業計画：20ha

○平成24年度事業の進捗

- ・6月15日まで事業募集。
- ・2市町から要望(15,000千円 5.7ha)があったが、いずれも採択要件を満たしていないことから不採択。
- ・7月23日～8月末まで2次募集を実施中。

(2) 里山林の整備・利用の促進

① 里山林整備事業

野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や、生物多様性の保全を図るため、里山林の整備・管理を支援。

○平成24年度事業費：58,000千円 ○平成24年度事業計画：280ha

○平成24年度事業の進捗

- ・市町村等から172,557千円の事業要望。(3月末)
- ・市町村等から提出された事業計画により、順次、補助金の交付額を決定。
- ・各市町村等において事業実施中。

② 環境保全モデル林整備事業

里山における生物多様性の確保や地域の生活環境の保全を進めるため、県が

「環境保全モデル林」を選定・整備し、里山林の再生や森林資源を活用した継続的な取り組みモデル手法を構築。その手法の全県への展開を図る。

○平成24年度事業費：3,800千円

○平成24年度事業計画：モデル林1ヶ所を選定し、整備計画を策定。

○平成24年度事業の進捗

- ・モデル林の募集に対し、4市町（4箇所）から応募。（4月～5月18日）
 - ・美濃市古城山地内の里山をモデル林第1号に決定。（6月12日）
 - ・NPO等、里山の利活用を行うプレーヤーを募集。（6月15日～29日）
 - ・モデル林設置者、プレーヤー、有識者、県等による、第1回環境保全モデル林整備・活用計画策定会議を開催。（8月2日）
- 今後、同会議で議論を深め、1月までにモデル林の整備・活用計画を策定予定。

（3）生物多様性・水環境の保全

① イタセンパラ域外保全推進事業

木曽川に生息するイタセンパラの域外保全（※生息する河川から取り出し、外部の施設において安定的に増殖）を推進するため、小型の野外池を整備し、イタセンパラの総合的な飼育技術に関する研究開発を実施。

○平成24年度事業費：15,700千円 ○平成24年度事業計画：1箇所

○平成24年度事業の進捗

- ・4月に開催した岐阜県イタセンパラ生息域外保全技術検討会の意見を基に、新たに整備する野外池の測量設計を実施し、7月末に完了。
- ・平成24年末までに完成予定。

② 野生動物総合対策推進事業

岐阜大学に寄付研究部門を設置し、岐阜県における野生動物保護管理体制及び被害対策の課題と解決策に関する調査研究、人材育成を実施

○平成24年度事業費：20,800千円 ○平成24年度事業計画：1機関

○平成24年度事業の進捗

- ・4月27日付けで岐阜大学と寄附講座設置に係る連携協定を締結し、5月1日に鳥獣害対策研究部門を設置。
- ・5年を目安として鳥獣害対策の科学的効果検証や人材育成に取り組む。

（4）公共施設等における県産材の利用促進

① 木の香る快適な教育施設等整備事業

公共施設における県産材利用を促進し、木材利用や環境保全に対する理解を

深めるため、公共施設のうち特に教育関連施設等の木造化や内装木質化を支援。

○平成24年度事業費：85,800千円 ○平成24年度事業計画：6棟

○平成24年度事業の進捗

- ・市町村等から要望案件4件（46,155千円）を採択。
- ・現在、事業着手済1件、事業計画書提出予定3件。

② ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業

公共施設における県産材利用を促進し、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、公共施設のうち特に教育関連施設等における木製の机、椅子、木製学習教材の導入を支援。

(ア) 学校等の机、椅子の導入

○平成24年度事業費：9,000千円 ○平成24年度事業計画：900セット

○平成24年度事業の進捗：

- ・市町村等から、要望案件6件（808セット：8,048千円）を事業採択
- ・現在、事業着手済4件、事業計画書提出予定2件。

(イ) 環境学習で必要な木製学習教材等(木のおもちゃ、木材加工キット等)の導入

○平成24年度事業費：5,000千円 ○平成24年度事業計画：100セット

○平成24年度事業の進捗

- ・市町村等から25件（573セット：2,486千円）の応募あり（募集期間：4/10～5/18）。
- ・応募のあった全事業に対し内示済み。
- ・2次募集を8月から実施予定。

(5) 地域が主体となった環境保全活動の促進

① 清流の国ぎふ地域活動支援事業

森や川づくりに対しての県民の関心を高め、県民総参加の森や川づくりを推進するため、NPO等自らが企画・立案・実行する創意工夫ある森や川づくり活動を支援。

○平成24年度事業費：12,000千円 ○平成24年度事業計画：20団体

○平成24年度事業の進捗

- ・NPO等から34件（15,940千円）の応募。
- ・5月25日の庁内審査会開催。
- ・6月6日開催の事業評価委員会の意見を踏まえ、6月12日に採択事業（31件、14,957千円）を決定。各団体へ内示。
- ・各団体において、事業実施中。

② 森と木と水の環境教育推進事業

子供たちを対象に、ぎふの豊かな自然（森・川・里山など）の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供や、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などを推進。

- 平成24年度事業費：7,500千円
- 平成24年度事業計画：80校
- 平成24年度事業の進捗
 - ・103施設（幼稚・保育園、小・中、高校、特別支援校など）で実施決定。
 - ・6月から事業を実施中。

(1) ～ (5) 市町村が提案する事業への助成

① 清流の国ぎふ市町村提案事業

清流の国ぎふ森林・環境税の趣旨に合致した、5つの施策を効果的に進めるため、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村が、特に必要と考える事業を支援。

- 平成24年度事業費：100,000千円
 - 平成24年度事業の進捗
 - ・市町村から63件（58,218千円）の申請。
 - ・5月22日に庁内審査会を開催。
 - ・6月6日開催の事業評価委員会の意見を踏まえ、6月12日に採択事業（54件、50,431千円）を決定。
 - ・各市町村において事業実施中。
 - ・残予算について、7月2日～13日に追加要望調査を実施したところ、19件（15,985千円）の要望あり。
- 今後、審査会、事業評価委員会の意見を踏まえて採択事業を決定する予定。

3 森林・環境税活用事業のPR

森林環境税活用事業を着実に実施していくとともに、活用事業の効果を納税者に知っていただけるよう、税を活用した事業（成果・有益性）のPRを積極的に行う。

- (1) 活用事業箇所・イベントにおける事業PR用のぼり、看板等の大々的な掲出
- (2) マスメディアを活用した、事業PRの実施
- (3) 活用事業実施者による成果発表会の開催（2月に開催予定）など